

日本医労連 2004年度NO.7 2005. 3. 9

# 青年協ニュース

全国の取組みやチラシ・ニュース等をお寄せください！

日本医労連 FAX：03-3875-6270

ニュースやネタは... [seinen@irouren.or.jp](mailto:seinen@irouren.or.jp) までお寄せください

**\*このニュースは各県と各県青年部の代表(分かる範囲で)に送っています。青年の会議で配るなど、多くの青年に渡るようご協力ください！**



## 青年春闘一言カードの取組み状況中間報告

青年協では、「青年部アピール」、「青年同士のつながりづくり」、「学習のきっかけ」など、様々なことにつながる取組みになると感じ、昨年に続き05春闘でも「青年の一言カード」の取組みを提起しました。現在事務局でつかんでいる限り、全労災、国共病組、北海道、岩手、埼玉、山梨、長野、大阪、広島、香川などで取り組んでいます。今号では寄せられた報告のなかから大阪の取組みを紹介します。



## 大阪青年部 「集めた声を各組合で青年春闘要求に！」

青年協で「一言カード」の取組みを紹介され、これはアンケートとは違い青年の本音の一言が集まりそうだと感じ、約1ヶ月間取組み、先日第一次集約を行い、5組合3全国組合支部より144通を回収しました。一言カードの中には一言では納まらないくらい書き込んでくれている方も多く、234声?の回答が得られました。

一言の結果は、人員不足・増員が16.2%と最も高く、ついでアメニティーの充実(15.0%)賃金問題(11.1%)となりました。人員不足から休みが少ない、仕事が忙しい、休憩できない(休みの取得:10.7%)につながり医療の質を低下(10.7%)させ、医療事故ミス不安(5.6%)につながる連動した問題があると考えました。

また「言っても変わりますか?」と言うアキラメ感のある一言を受け「言わなければ変わらない」ということを伝えていくようにしなければいけないとも感じ、言っても変わらないという意見を減らすためにも、一つの取組みには一つの回答を出そう、青年だけでは難しければ各組合の執行委員会にも持ち帰ろう。そして、この一言カードの結果は必ず各組合において青年春闘要求としてあげていこうと確認しました。

回収組合が少なかったのは残念でしたが、取り組んでみて青年の本音の一言を感じ、今後大阪医労連として全体の集計を取る取組みとして、また各組合青年部要求の起爆剤として取り組んでいきたいと思いました。(大阪医労連青年部部長 ♪耳原病院労働組合 今井紘子さん)

## 雪の中、OKコールでパレード☆3. 4行動

3月4日、東京では、20年ぶりといわれる深夜からの雪が降り積もる中、「05春闘勝利！中央行動」が展開されました。連動して、午前中には、全労連青年部・女性部・パート臨時連共同の厚生労働省交渉や厚生労働省前包囲行動を行ったのを皮切りに、中央集会の後の青年・パート共同の銀座パレード、経団連前要請行動など多彩な取り組みを行いました。

激しく雪の降る中で、午前中に行われた厚生労働省前包囲行動では、青年・女性・パートの参加者約100名が集まりました。医労連青年協を代表してリレートークに立った国共病組・大手前支部の田中大臣さんは、「青年の一言カードの取り組みでは、青年の悲痛な叫びが書き連ねられ、青年部役員も改めて驚いた。アキラメではなく、怒りを力に変えて春闘を頑張りたい」と発言しました。

昼の日比谷野音の中央集会は、JMIUの組合員である「拳」さんの歌でオープニング、桂文福さんの「春闘激励 寄席」、女性・青年・パート共同の寸劇、医労連は岡山からマツケンサンバの替え歌に乗せて「憲法守れ！サンバ」を踊りました。最後はゴスペルグループによる「We shall overcome!」で集会を閉めました。

青年・パートの銀座パレードでは、約700名が参加。シュプレヒコールではなく、「大幅賃上げ！OK！OK！パート差別はNoサンキュー！」とOKコールで唱和して、みぞれ交じりの雪が残る道を歩いてアピールしました。全厚労大分の河野綾さん(日本医労連青年委員)が、ウグイスデビューしました。

その後、経団連前に移動し、要請行動を行いました。全労連青年部の小川薫部長らが、経団連に対して、青年の雇用対策やパートの均等待遇などで、大企業の社会的責任を求めて、要請書を提出。文書回答を求めるとともに、今後も懇談をしていきたいと申し入れました。

(松尾 晃青年協事務局長☆日本医労連)

## 数年ぶりに青年部会議開く★公共労

3月3日に公共労が青年部会議を開催、公共労本部はじめ10支部から25名が参加しました。

最初に青年協の浅山麻実副議長が青年協の活動について約30分講演し、その後各支部・分会の青年部活動について意見交流を行いました。支部・分会からは新歓や旗開き、バーベキュー、クリスマス前にはキャンドルサービスなどしているといった報告があり、公共労青年部としての活動についても討議しました。木間書記長からは今年はアクトが開催されること、毎年公共労から多くの参加者を送り出している平和ツアーなどへも積極的に参加してほしいことなどが話されました。公共労ではサマーキャンプも実施していますが、今年はアクト開催の年ということで来年に向けて企画される予定です。

アクトにたくさん参加してもらえるように各県の青年からも是非声をかけてあげてくださいね。

(浅山麻実青年協副議長☆全労災本部)

## 訂正とおわび m( \_\_ \_\_ )m

先日、送付した「青年協ニュース 7号」は、担当者のミスで記事をダブらせてしまったので、7号修正版として、今号を発行します。申し訳ありませんが、差し替えをお願いします。

日本医労連青年協ニュース 7 2/2